

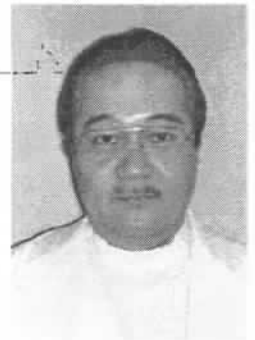
発行責任者 病院長 川和忠治
編集責任者 広報委員長 佐藤裕二

〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1 TEL 03-3787-1151

ホームページ: <http://www.senzoku.showa-u.ac.jp/>

総合診療歯科

科長 長谷川篤司



この度、総合診療室から総合診療歯科となりました。総合診療歯科では成人の一般歯科診療と、病院全体の初診係とを担当いたします。私たちは、患者様の「お口の健康」を生涯にわたってサポートしたいと考えています。このために、私たちは良質の診療を提供するだけでなく、患者様が自分の「お口の健康」に関心をもっていただく「手掛かり」を提供できるように努力してまいります。当科では診察・診療の一部を研修医が担当させていただきます。彼らが熱意をもって作製する資料や治療計画書は、必ずや患者様の「お口の健康」への興味を刺激し、さらに安心して受診していただける参考になると確信しております。もちろん、患者様のご希望や病状を第一とし、専門診療科への紹介にもスムーズに対応してまいります。

新設診療科のお知らせ

歯科病院長 川和忠治

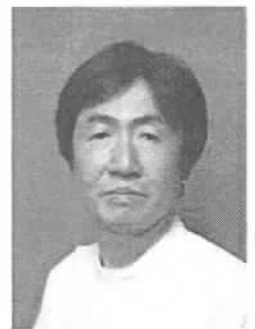


平成16年度から当歯科病院において診療科の再編を行っております。これに伴って、患者さんのニーズが高い「美容歯科」「インプラント科」、「顎関節症科」、「障害者歯科」の新設診療科を立ち上げることにしました。既に「お口の健康外来」は、本年2月より1階で開設しています。これらの診療については今までも各専門外来で個々に行なってきましたが、病院として専門診療部門を標榜し1箇所で診療することにより、ドクター間の意志の疎通による効率の良い医療が提供でき、今まで以上に患者さんに安心と満足感のある医療を提供できるものと考えています。

4新設診療部門（美容歯科、インプラント科、顎関節症科、障害者歯科）の責任者（診療科長）も決まり、それに伴って現在、歯科病院内の改築も行っており、それぞれの新設診療科が9月の開設に向かって準備を進めているところです。

美容歯科

科長 真鍋厚史



今秋9月より新たな診療科として美容歯科が開設される事になりました。今までの美容歯科は主に前歯を中心に削って白いかぶせ物をしたり歯並びを揃えたりすることでした。しかしながら当昭和大学歯科病院の美容歯科ではこのような治療のみならず、咬み合わせや歯周病の治療を終わられた方や治療の方がより一層口元を健康的にしたい、あるいは美しくしたいと思われる方のために協力させていただきます。すなわち、すでにかぶせてある差し歯やかぶせ物、変色歯あるいは歯肉の変色などを綺麗にすることも行っております。また、部分的な金属の詰め物を白くすることや汚れのついた歯を清潔にすることも最先端の技術によって行います。もちろん、すでに審美的な治療が終了されて満足されているものの継続的に検診やチェックをご希望の方でも受診可能であります。さらに金属や歯科材料に対してアレルギーがあり歯科治療に対して不安をお持ちの方のご相談もお受けいたします。このように当科ではどなたでも日常的に気になるちょっとした審美的な問題やお悩みのご相談から治療、検診を大学病院ならではの美容歯科として受診していただけたら幸いです。

インプラント科

科長 倉地洋一

今秋9月より開設されるインプラント科についてご紹介致します。今まで、歯を失うと、噛んだり、話したり、審美的な機能を回復するために、ブリッジと呼ばれる固定式の装置や、取り外し式の入れ歯を多くの場合使用してきました。しかし、固定式の装置を入れたいのに、支えとなる歯がなかったり、自分の歯を削りたくない、入れ歯では噛みにくい、しゃべりにくい、吐き気がするなどの問題のある人もいらっしゃいます。最近では、歯を削らなくてもよい方法、入れ歯に代わる新しい方法としてインプラント治療が注目されています。このインプラントは、第二の永久歯ともいわれ、主にチタンという金属で作られた人工の歯根を顎の中に埋め込み、歯の機能を回復するもので、最新でかつ安全な治療法です。インプラント科では、インプラント治療についての様々な相談から治療を行っておりますので、ぜひ一度訪れていただけたらと思います。



顎関節症科

科長 古屋良一

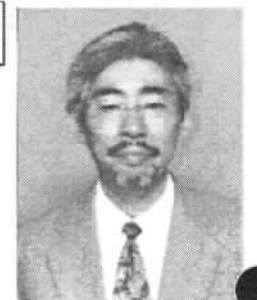
この度、歯科病院に新設される顎関節症科についてご紹介いたします。「顎関節症」とは、口を開けたり、物を食べたりすると耳の少し前にある顎の関節（顎関節）や頬の筋肉が痛かったり、顎関節部でボキボキと音がしたり、口が開けづらい、などの症状があり、その原因が顔面、頭部の打撲などの外傷や、リュウマチなどの炎症性疾患でない場合をいいます。顎関節症の患者さんの中には、前記のような症状（主要症状）の他に、偏頭痛、眼痛やめまい、耳鳴りや耳閉塞、頸部や肩の凝り、などの頭頸部の症状や、手足のしびれ、腰痛や膝関節の痛み、胸の動悸など全身的症状に至まで、様々な症状を訴えることがあります。最近、このような患者さんが増えており、それに的確に対応するために、本科が開設されることになりました。顎関節症は歯の噛み合わせの不良などによって生ずることもあるので、前記のような症状をお持ちの方は、一度、当科にご相談下さい。



障害者歯科

科長 佐藤昌史

新設診療部門のひとつとして障害者歯科が9月初旬よりスタートすることになりました。歯科治療を受けていただく際に様々な心身障害のため、特別なサポートや診療上の配慮を必要とされる方々のためにご利用いただける診療科として新設されました。当病院では昭和52年の開設以来、小児歯科におきまして全身的なご病気や障害などのため、治療が苦手なお子様や一般の歯科医院での治療が難しいお子様の歯科治療や予防に取り組んでまいりました。この度本科の新設に伴い、年齢の枠にとらわれず多くの患者様や保護者の方々に気軽にご相談頂きそれぞれの患者様の状況に適した安全な医療サービスをご提供させていただけるようスタッフ一同努めてまいりますので宜しく御願ひ申し上げます。



患者様からのご意見・ご要望

ご意見・ご要望	改善等
1階会計窓口での呼出について	「名前を呼び出す際は敬称の後に語尾をのばさないでほしい」とのご指摘有難うございました。ご不快感を与えたこととお詫び致します。早速、改めるよう指導致しました。
正面玄関脇のスロープの上に雨よけを設置してほしい	「雨の日に車椅子で駐車場から正面玄関に入るまで間に体が濡れてしまうのでテント等の雨よけを設置してほしい」とのご要望をいただき有難うございました。次年度予算計上し、改修することに致したいと思っております。ご不便おかけ致しますがいま暫くお待ち下さい。
病院内が暑い	「病院内の室温をいつも適温にしてほしい」とのご要望を複数の患者様よりいただきました。患者様に不快感をおかけしております。現在の空調機器設備は、外気温の急激な変化に対応できません。対応可能な空調機器設備に変更できるよう次年度予算化を計画しています。